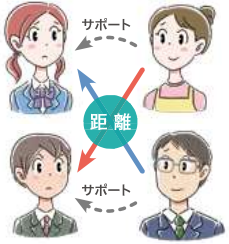


思春期のコツ

「母さん、ウザいー」「パパ、キモいー」期の関係
 思春期の子どもは身体と心が急激に成長し、ホルモンバランスが崩れて、つねにイライラ・モヤモヤ・性への興味が出てくると、異性の親への複雑な感情が増してきます。
 親は、異性の子とは少し距離をとって見守り、同性の子をサポートする。親子の関わりをシフトチェンジしていくのが、この時期をうまく乗り越えるコツです。



回答者 村瀬先生より

「性」をあたりまえに話そう

子どもが性について興味をもつのは、身体（性器を含めて）のしくみやはたらき、いのちの成り立ちへの不思議からです。それは健康な好奇心の表れでもあります。

大人がそれをいやらしいことだと、まともに対応しようとしないうえに「そんな姿勢こそが、恥ずかしいこと」です。自然なこととして自信をもって答えてください。大人への信頼がそこから生まれます。



ハルシステム東京の委員会が主催した「思春期男子の性教育」講座の村瀬先生。会場は暖めのお酒でたのびた後、謝儀。

村瀬幸浩

高校の保健体育科教師として25年勤務。その後、一橋大学、津田塾大学で「セクソロジー」の講師を務めた。日本思春期学会名誉会員。

近著「子どもと性 タジタジ親にならないために」（子どもの未来社刊）

もっと知りたい人はこちら



Q3 息子が部屋でエッチな本や動画を見ているみたい…

A お母さんはノータッチで。同性の大人（父親など）に任せて

まず、男子の発達過程においてこれはふつうにあることです。ただこの時期、母親が思春期の息子と性のことで関わるのは厳禁だと知ってください。異性である母親が関わるほど、息子さんは心を閉じてしまうでしょう。

この年ごろの男子には、基本的に父親か、信頼できる身近な大人の男性が関われるよう、役割を分担してください。子どもがネット情報に接するうえで心配なのは「現実と作り物の区別がつかない」ということです。性に関することも、大人の男性としての経験をふまえて、しっかり子どもと話せるのが理想ですね。

Q4 高校生の子どもに恋人が。どこまでの付き合いなのか心配です

A 交際をどこまで許せますか？ 親の心配や気持ちを、正直に伝えて

まだ未成年の高校生までは、親が責任をもつ年齢。あなたの心配事はセックスですか？ その先の望まない妊娠や病気ですか？ きちんと考えをまとめてから、子どもと向き合ってください。事前に夫婦で話し合うのもいいでしょう。

「あなたのことが大切で心配だから」という前提で子どもと話せば、きっと伝わると思います。女の子には妊娠や中絶のリスク、避妊についてもきちんと教え、女性の負担が重いことを伝えましょう。男の子には性欲は自分で管理すること、妊娠・出産における責任の重さを伝えましょう。



身体と心の変化の時期… どうしたら？

「子どもと性」の相談室

子どもと「性」の話をするのは、恥ずかしくて伝えにくいと考える人が多いようです。でも避けては通れない、いのちの教育でもあります。そこで親として関心のあるテーマ4つを、日本思春期学会の村瀬幸浩先生に質問。親子で話し合うためのヒントをいただきました。



Q1 「赤ちゃんはどこから生まれてくるの？」と聞かれたら



A ごまかすのはNG。子どもは親との関係を確認しがっています

「コウノトリが…」などとごまかさずに、なぜ知りたいと思ったのか、たずねてみましょう。年齢的にまだ理解できないと感じたら、「もう少し大きくなったら話そうね」と伝えて。

小学4年生以上なら、「子宮という赤ちゃんが育つ袋が女性のお腹にあり、生まれる時期になると柔らかい管を通して出てくる」など、保健体育の知識をふまえて伝えましょう。出産の場所についても、「おしっことうんちの出口の間にあって、いつもは閉じているけれど、時期がくると赤ちゃんが通れるくらい開く」と、きちんと伝えていいと思います。

A あなたは悪くない。大切な場所を守って、と伝えて

まずは話せたことをほめてあげて、つらかった気持ちに寄り添ってあげてください。決して娘さんを責めるようなことを言うてはいけません。

そして、口や水着で隠れる場所は、お母さんやお医者さん以外には触らせないこと。もし触ろうとする人がいたら、「NO（いやだと言え）、GO（逃げて）、TELL（信頼できる人に話す）」が大事だと伝えてください。男の子でも、被害にあう可能性はゼロではないとも知っておいてください。

Q2 娘が誰かから、いやらしいことを言われたようです

